



# カスタムドリップコーヒーマーカー

品番：K-CM6

## 家庭用



### もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称	6
コーヒーの淹れ方	8
タイマー設定	14
お湯を沸かす（ケトルモード）	15
お手入れのしかた	16
故障かなと思ったら	19
製品仕様	20

## ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。  
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

# 安全上のご注意

## ●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

## ●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。

 必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## ■電源プラグ・電源コードについて

 めれた手で、電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。  
火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
感電・ショート・火災の原因となります。

 交流 100 V・定格 15A のコンセントを単独で使用する。  
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。  
感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。  
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

 **警告**

 **注意**

 使用后、電源コードを本体に巻き付けない。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

 電源コードは温度の高くなる部分に近づけない。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



お手入れ時や使用していないとき、保管時は、電源プラグをコンセントからはずす。

火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートの原因となります。



電源コードはすべてほどいて使用する。

電源コードを束ねたまま使用すると、重なった部分が熱を持ち、火災の原因となります。

■ 本体・ガラスポットの取り扱いについて



分解・改造はしない。

火災・感電・けがの原因となります。

本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。

異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用したりしない。

感電・けが・やけどの原因となります。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電・火災の原因となります。

カーテンなどの可燃物の近くやスプレー缶など破裂の恐れがあるものの近くで使用しない。

火災の原因となります。

異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。

火災・感電の原因となります。



使用中や使用直後は、蒸気口周辺に手や顔を近づけたり、水タンクに触れない。

やけどの原因となります。

蒸気口



ガラスポットは、以下の点を守って使用する。

- 直接火にかけない。
  - 電子レンジで加熱しない。
  - 急激に冷却しない。
  - 他の機器で使用しない。
- 割れて、火災・けがの原因となります。

⚠ 警告

# 安全上のご注意 (続き)



**本製品は一般家庭用のため  
業務用として使用しない。**  
火災・故障の原因となります。

**不安定な場所や熱に弱い敷物  
の上などに置いて使用しない。**  
火災の原因となります。

**コンセントに接続しているとき  
は、本製品のそばを離れない。**  
思わぬ事故の原因となります。

**ガラスポットをのせたまま、  
本体を動かさない。**  
ガラスポットが落下してけがの原因と  
なります。

**湯沸かし・抽出中や使用直後  
に水タンクのふたを開けない。**  
蒸気が吹き出てやけどの原因となり  
ます。

**弊社指定外の部品を使用しない。**  
誤作動して思わぬ事故の原因となり  
ます。

**壁や家具の近くで使用しない。**  
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色し  
たり、火災の原因となります。



**決められた容量以上のコー  
ヒー粉 (55g) を入れない。**  
コーヒーがあふれ出して、やけどや故  
障の原因となります。

**本体やガラスポットを落としたり、  
硬いものをぶつかけたりしない。**  
破損してけがや故障の原因となります。

**破損や変形があるときは絶対  
に使用しない。**  
感電・けが・故障の原因となります。

**使用中は本体を移動させない。**  
故障・やけど・けがの原因となります。

**本体の上や下に燃えやすいも  
のを置いたり敷いたりしない。**  
火災の原因となります。



**水のかからない場所に設置する。**  
感電の原因となります。

**連続使用するときは、使用后  
5分待ってから、水タンクに  
水を入れる。**

使用后すぐに水を入れると、蒸気が  
吹き出てやけどの原因となります。

**持ち運びやお手入れ、保管を  
するときは、本体が冷めてか  
ら行う。**  
火災ややけどの原因となります。



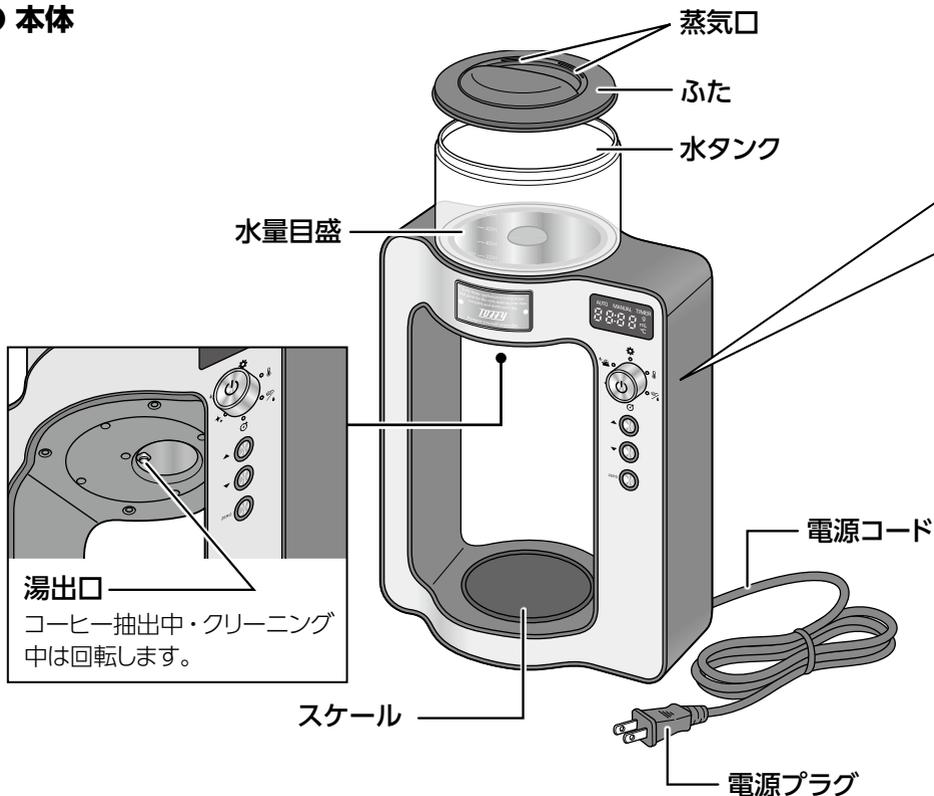
注意

# 使用上のご注意

- はじめて使用するときは、ガラスポット・メッシュフィルター・ふた・フィルター置きを水洗いしてください。  
水洗いする際は、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。  
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。  
→ 17 ページ
- はじめて使用するとき、または長い間使用していなかったときは、クリーニングモードを1～2回行い、内部を洗浄してください。  
→ 18 ページ
- 水タンクに水以外のものを入れないでください。  
故障の原因となります。
- お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどを使用しないでください。  
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。  
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。

# 各部の名称

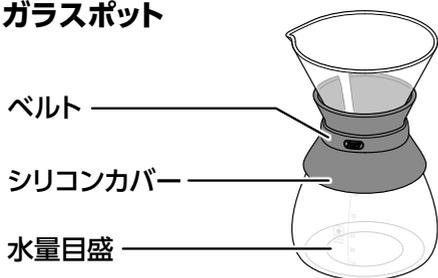
## ● 本体



## ● メッシュフィルター



## ● ガラススポット



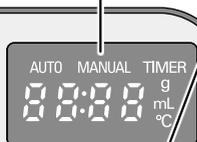
## 付属品

### ● フィルター置き×1

コーヒーを注ぐときなどに、メッシュフィルターを置くことができます。



## ディスプレイ



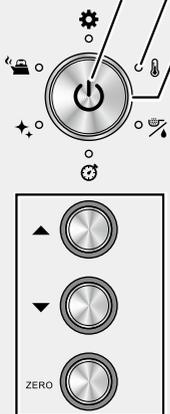
## 確認 / START ボタン (動作ランプ)

設定完了後、押すと湯沸かし・抽出を開始します。  
湯沸かし・抽出中は動作ランプが点滅します。  
湯沸かし・抽出中に押すと停止します。

## 操作表示ランプ

## 設定・モード切替ダイヤル

ダイヤルを回すと、それぞれの操作表示ランプが点灯します。  
点灯しているところの設定は操作ボタンで行うことができます。



	<b>AUTO(オート)/MANUAL(マニュアル)切替設定</b> AUTO (オート) /MANUAL (マニュアル) を切り替えます。	
	<b>AUTO (オート)</b>	水温と粉:水比率を以下の設定で抽出します。 水温: <b>93°C</b> (コーヒー粉:水量) の比率: <b>1:11</b>
	<b>MANUAL (マニュアル)</b>	水温と粉:水比率を手動で設定することができます。
	<b>水温設定</b>	MANUAL 時に水温を設定します。
	<b>粉:水比率設定</b>	MANUAL 時にコーヒー粉の量に対する水量の比率を設定します。
	<b>タイマー設定</b>	設定した時間が経過すると湯沸かし・抽出を開始します。 → 14 ページ
	<b>クリーニングモード</b>	クリーニングを行います。→ 18 ページ
	<b>ケトルモード</b>	お湯を沸かしたいときに使用します。→ 15 ページ

## 操作ボタン

	AUTO/MANUAL の切替、水温、粉:水比率、時間を設定するときに使用します。 長押しするとすばやく数値を変えることができます。
ZERO	スケールの重さ表示を 0 にします。 コーヒー粉の重さを量るときに使用します。

# コーヒーの淹れ方

## 1 水タンクに水を入れます。

- ① ふたを開け、水タンクに MIN 線以上 MAX 線以下の水を入れます。

※ MIN 線 (200ml) 以上の水を入れないと、抽出ができません。



**注意**

MAX 線 (1000ml) より多くの水を入れないでください。コーヒーがあふれてやけどの原因となります。

- ② ふたを閉めます。

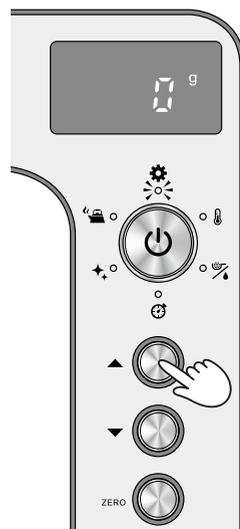


## 2 AUTO (オート) または MANUAL (マニュアル) を選択します。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

ディスプレイのすべての表示が 3 回点滅し、電子音が鳴り、右図のように 0g の表示になります。

- ② ▲/▼ を押して、AUTO/MANUAL を選択します。



### AUTO (オート) の場合

抽出時の「水温」と「粉：水比率」を以下の設定で抽出します。

水温	93℃
コーヒー粉：水量	1：11

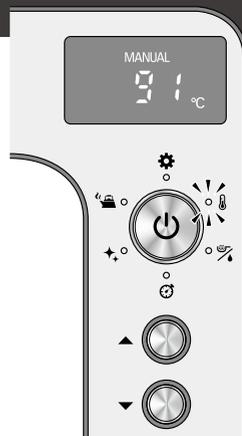
手順 **3** に進みます

## MANUAL(マニュアル)の場合

抽出時の「水温」と「粉:水比率」を手動で設定することができます。

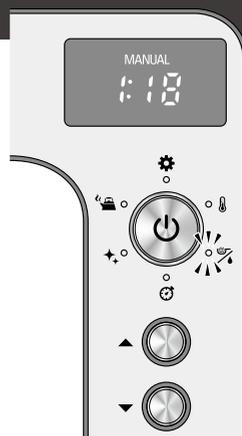
### 水温を設定する

- ① 設定・モード切替ダイヤルを回して、  
 (水温設定) に合わせます。
- ② ▲/▼を押して、抽出時の水温を設定します。  
水温は 80 ~ 98℃の範囲で設定できます。
- ③  (確認 / START ボタン) を押して決定します。



### 粉:水比率を設定する

- ① 設定・モード切替ダイヤルを回して、  
 (粉 : 水比率設定) に合わせます。
- ② ▲/▼を押して、コーヒー粉の量に対する水量の比率を設定します。  
「コーヒー粉 : 水量」は「1 : 8」 ~ 「1 : 20」の間で設定できます。  
・水量が多いほど薄めの味になります。  
(例)  
「1 : 18」の設定で、コーヒー粉が 20g の場合、水量は  $20 \times 18 = 360\text{ml}$  となります。
- ③  (確認 / START ボタン) を押して決定します。



水温と粉:水比率を設定したら、手順 **3** に進みます

# コーヒーの淹れ方 (つづき)

## 3 コーヒー粉を入れていない状態で、ガラスポットとフィルターをスケールで量ります。

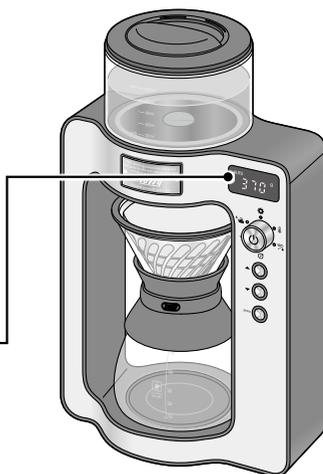
- ① ガラスポットにメッシュフィルターとペーパーフィルター（別売）をセットします。

ペーパーフィルターは円すい形のものを使用してください。



- ② ガラスポットを本体のスケールの上に置きます。

ディスプレイに**ガラスポットセット**（ガラスポット、メッシュフィルター、ペーパーフィルター）の重さが表示されます。

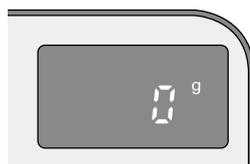
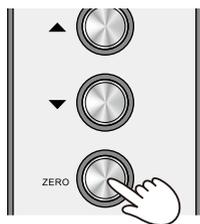


- ③ 「ZERO」 ボタンを押します。

ディスプレイの重さ表示が「0」になり、現在の重さが基点となります。

「0」が点灯したら、ガラスポットを本体から取り出します。

※「0」が点滅しているときはガラスポットを取り出さないでください。



※ 表示例

（ガラスポットセットの合計重量には個体差があります）

## 4 コーヒー粉をペーパーフィルターに入れ、重さを量ります。

- ① ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れます。

AUTO 時のコーヒー粉の量とできあがり量の目安

AUTO 時は、コーヒー粉：水量が 1：11 となります。

コーヒー粉の量	できあがり量
12g	約 130ml (1 カップ)
24g	約 260ml (2 カップ)
36g	約 395ml (3 カップ)
48g	約 525ml (4 カップ)

※ コーヒー粉の量はお好みにより調整してください。

※ コーヒー粉は 55g を超える量を入れしないでください。

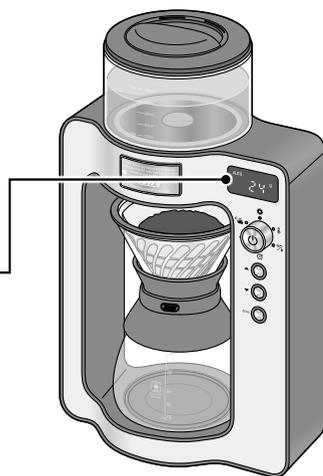
※ コーヒー粉により、コーヒーのできあがり量は多少異なります。

※ MANUAL 時のできあがり量は設定したコーヒー粉：水量の比率によって異なります。



- ② ガラスポットを本体のスケールの上に置いて、コーヒー粉の重さを確認します。

ディスプレイに  
コーヒー粉のみの重さが  
表示されます。



### 重要

本製品は、コーヒー粉の重さによって、水量が自動的に設定されますので、コーヒー粉の重さが正しく表示されていないと、適切な湯量が注がれません。重さが正しく表示されていない場合は、手順3からやり直してください。

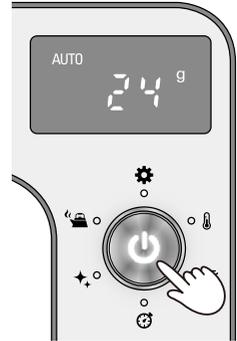
# コーヒーの淹れ方 (つづき)

- 5** **ON(確認/STARTボタン)を押します。**  
動作ランプがゆっくり点滅し、加熱が開始されます。



## 警告

加熱中・抽出中は、蒸気口周辺に手や顔を近づけたり、水タンクに触れないでください。  
やけどの原因となります。



## 加熱中

- 水タンク内の水温が表示されます。
- 設定した水温 (AUTO では 93℃) に達すると、お湯が落ち、抽出が始まります。

## 抽出中

- 注いだお湯の量がディスプレイに表示されます。
- 抽出中は蒸らしの工程が入りますので、途中で 30 秒間程度お湯が止まります。
- 抽出中にガラスポットを取り出すと、抽出が停止し、ディスプレイに「----」と表示され、動作ランプが点灯します。

抽出が停止して 30 秒以内にガラスポットをセットすると、抽出を再開します。  
ガラスポットをはずして 30 秒以上たつと、動作ランプが消灯し、電子音が 5 回鳴り、抽出は再開できません。手順の最初からやり直してください。



## メモ

コーヒー粉の重さが正しく計測されていない場合、ディスプレイに次のエラーが表示されます。

ディスプレイ表示	原因
	コーヒー粉を入れていない。
	ガラスポットをスケールの上に置いていない。

**6** 抽出が完了すると、電子音が5回鳴ります。  
コーヒーが落ちきるまで30秒ほど待つてから、ガラスポットを  
取り出し、カップに注ぎます。

- 本製品には保温の機能はありません。
- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。



フィルターはフィルター  
置きに置いておくことが  
できます。



**注意**

ガラスポットは熱くなりますので、必ずシリコンカバーの上から持つ  
てください。  
やけどの原因になります。

### 続けてコーヒーを作る場合

10分以上たつと、待機モードになります。確認／START ボタンを押し、再度 **1**～**6** の  
手順で抽出してください。

待機モード：電源がオンの状態でディスプレイがすべて消灯している状態のことです。



**注意**

連続して抽出するときは、抽出後5分待つてから、水タンクに水を入れ  
てください。  
抽出後すぐに水を入れると、蒸気が吹き出てやけどの原因となります。

### 抽出・加熱を途中で中止する場合

途中で抽出・加熱を止めるときは、確認／START ボタンを押します。

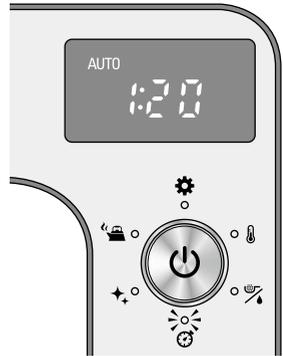
抽出中に停止した場合は、湯出口が元の位置に戻るまでしばらくモーターの音がします。

# タイマー設定

設定した時間が経過すると湯沸かし・抽出を開始します。

**1** あらかじめ、「コーヒーの淹れ方」(8ページ)の手順**1**~**4**を行います。

**2** 設定・モード切替ダイヤルを回して、 (タイマー設定)に合わせます。



**3** 時間を設定します。

時間は「1分～23時間59分」後まで設定できます。

① 「時間」部分が点滅しているので、▲/▼を押して時間を設定し、 (確認/STARTボタン)を押して決定します。



② 続いて「分」部分が点滅するので、▲/▼を押して、分を設定し、 (確認/STARTボタン)を押して決定します。



ディスプレイに「TIMER」と表示され、タイマーが設定されます。

画面の例だと2時間後に抽出が開始されます。

● タイマーを解除したい場合は、

 (確認/STARTボタン)を再度押します。

● タイマー設定後は、設定・モード切替ダイヤルと操作ボタンは反応しませんので、設定を変更したい場合は、タイマーを解除してください。



# お湯を沸かす（ケトルモード）

お湯のみを沸かすことができます。

- 1** ふたを開け、水タンクに必要な分量の水を入れます。
- 2** スケールの上にガラスポットを置きます。  
容器はお手持ちの耐熱用の容器でも問題ありませんが、容器の形状によってはお湯が飛び散る場合がありますので、やけどにご注意ください。
- 3** 設定・モード切替ダイヤルを回して、「（ケトルモード）に合わせます。
- 4** ▲／▼ を押して、お湯の温度を設定します。  
水温は水タンクにある水の温度～100℃の範囲で設定できます。
- 5** （確認／STARTボタン）を押します。  
動作ランプがゆっくり点滅し、加熱が開始されます。
  - 設定した温度までお湯の温度が上がったら、お湯が落ちてきます。
  - 途中で止める場合は、確認／START ボタンを押してください。
  - ケトルモードでは湯出口は回転しません。



水がすべて落ち、電子音が5回鳴ったら  
ガラスポットを取り出します。

# お手入れのしかた

使い終わったら、お手入れをしてください。

## ⚠ 注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- 十分に温度が下がってからお手入れをしてください。  
やけどの原因となります。
- 本体に直接水をかけたり、水に沈めたりしないでください。  
故障・やけど・火災の原因となります。
- 熱い状態のガラスポットを急激に冷却しないでください。  
割れてけがの原因となります。

## お願い

- 研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどを使用しないでください。  
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。

## 通常のお手入れ

### 本体・水タンク

汚れたときは湿らせた布で拭きます。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

- 水タンクは取りはずしできません。



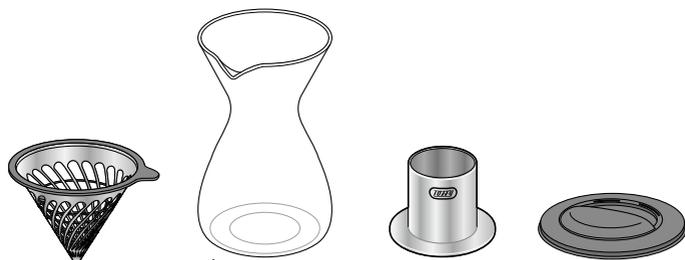
スケールの上に異物がないことを確認してください。

- 異物があった場合は取り除きます。
- 汚れたときは湿らせた布で拭きます。

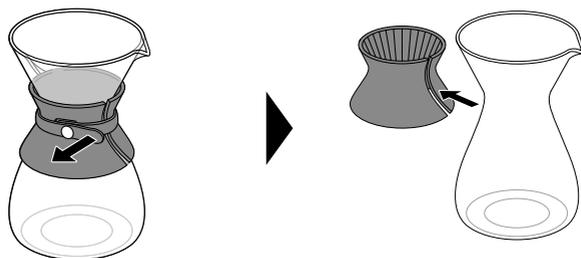
## メッシュフィルター、ガラスポット、フィルター置き、ふた

柔らかいスポンジに、台所用洗剤をうすめた水を含ませて洗います。

- 洗浄後は、流水で洗剤を流した後、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 汚れなどそのままにして再度加熱すると、その汚れが取れなくなることがあります。



ガラスポットはシリコンカバーをはずしてから水洗いしてください。  
シリコンカバーはベルトのボタンをはずすと取りはずせます。



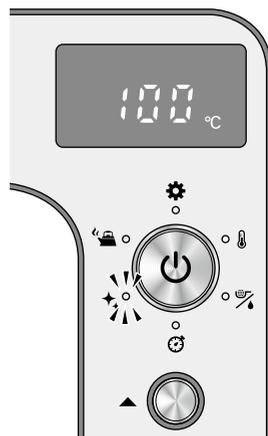
# お手入れのしかた (続き)

## 定期洗浄 (クリーニングモード)

50 回使用すると、クリーニングの操作表示ランプが点滅します。

クリーニングの操作表示ランプが点滅したら、以下のお手入れをしてください。

- クリーニングは内部に付着した水に含まれる石灰成分を除去するためのものです。



- ① 水タンクの「MAX」の位置まで水を入れ、空のガラスポットを本体のスケールの上にのせます。
- ② 食酢大さじ 1 杯を水タンクに加え、ふたを閉めます。
- ③ 設定・モード切替ダイヤルを回して、**★** (クリーニングモード) に合わせます。
- ④ **⏻** (確認 / START ボタン) を押してクリーニングを開始します。  
クリーニングを開始すると、水が 100°C まで加熱された後、お湯が落ちてきます。  
クリーニングモードでは湯出口は回転します。
- ⑤ 水タンクの水が空になり、電子音が 5 回鳴ったら、ガラスポットのお湯を捨てます。
- ⑥ 5 分以上たってから、食酢のにおいが消えるまで、再度クリーニングモードで 2 回以上お湯を出します。



**警告**

クリーニング中は、蒸気口周辺に手や顔を近づけたり、水タンクに触れないでください。  
やけどの原因となります。

# 故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
抽出（ドリップ） ができない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	水タンクに水が入っていない。	水タンクに水を入れてください。
コーヒーが できない	ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れていない。（ディスプレイに「NoC」と表示されている）	コーヒー粉をペーパーフィルターに入れてください。
	ガラスポットを本体からはずした。（ディスプレイに「---」と表示されている）	ガラスポットを本体のスケールの上に置いてください。
コーヒーが 薄い／濃い	ガラスポット、メッシュフィルター、ペーパーフィルターの重さが「ZERO」にされていない。	10 ページの <b>3</b> の手順を行ってください。
	AUTO（オート）抽出している。	MANUAL（マニュアル）でお好みの濃度に設定してください。
コーヒー粉の量が 正しく計測されて いない	「ZERO」ボタンを押した後、「0」が点滅しているときにガラスポットを本体から取り出した。	「0」が点灯してから、ガラスポットを本体から取り出してください。
	ガラスポットを本体のスケールの上に正しく置いていない。	片側に寄らないように置いてください。
	ガラスポットやメッシュフィルターなどが本体の内側に当たっている。	本体の内側に当たらないように置いてください。
通電後や抽出中、 または抽出を中止 した後しばらく、モ ーター音がする	湯出口を回転させるためで正常な音です。抽出後もしばらくは、湯出口が元の位置に戻るまでモーター音がします。	—

## 長期間ご使用のカスタムドリップコーヒーメーカーは定期的な点検をお願いします

- ・電源コードが異常に熱い。
- ・電源コードに深い傷などがある。
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

### お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間 10:00～18:00（土・日・祝日を除く）

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご購入されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて  
株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

# 製品仕様

品名	Toffy カスタムドリップコーヒーメーカー
品番	K-CM6
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1,000W
水タンク容量	1,000ml
電源コード長	約 0.9m
本体寸法	約 248(W) × 430(H) × 150(D)mm ※ガラスポットを含まず
重量	約 2,500g ※ フィルター置きを含まず
抽出方式	ドリップ式
ガラスポット	ホウケイ酸ガラス
生産国	中国
付属品	フィルター置き、ユーザーズガイド（保証書含む）、 カンタン操作ガイド（コーヒーレシピ付）

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は、(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。